

1. 科目名 (単位数)	障害者福祉論 (2単位)	3. 科目番号	SSMP2101
2. 授業担当教員	祐東 孝好		SCMP2101
4. 授業形態	講義・ディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>障害者を取り巻く福祉制度・政策は、日々、劇的な変化を遂げている。そして、障害者のニーズも複雑・多様化している。実践現場では、これに適切に対処することができるソーシャルワーカーが求められている。本講義においては、激しく移り変わる障害福祉制度や情勢、さらには障害者の実情について学び、ソーシャルワーカーが主体的に問題解決に取り組むことができるように知識を身につけていく。</p> <p>また、ソーシャルワーカーは多面的な視点を必要とすることから、新聞記事等、資料も用いて障害者問題のみならず老人・貧困等と、さまざまな課題を取り上げ、福祉問題について共に考えていく。</p> <p>そして、障害者福祉論は、社会福祉士国家試験の『障害者福祉』に位置する科目となる。同国家試験の合格を目指すためには、『障害者福祉』が得点源となるような受験対策が必要となる。そのため、本講義においては、過去の国家試験を分析・検討し、それに沿った内容も講義する。</p>		
8. 学習目標	<p>障害者福祉論が終了した時点で、具体的に以下の点を理解し、説明できるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 障害概念と特性 2) 障害者福祉の理念 3) 障害者福祉の歴史 4) 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題 5) 障害者に対する法制度 6) 障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割 7) 障害者と家族等に対する支援の実際 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・不定期のレポート、小テストを行う。 ・その他のレポートは、授業内でお知らせします。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編 『最新・社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 8 障害者福祉』中央法規 2021</p> <p>参考図書等については随時提示する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 7つの学習目標を理解することが出来たか。</p> <p>○評定の方法 ①中間試験 30% ②期末試験 50% ③平常点 (授業への積極的参加度及びレポート) 20%</p> <p>尚、本学の規定に定められている3/4以上の出席が確認できない場合には単位の修得は認めない。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>授業を通して基本的な事柄について学びます。そこから、近年の障害者が地域で暮らすための問題点や必要な施策を総合的に学びます。事例や実際に関わってきた経験からより分かりやすく授業をすすめます。授業への出席はもとより、授業への参加、ディスカッションやレポート作成等積極的に取り組んでください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 遅刻、欠席のないようにする。やむを得ず欠席する(した)場合は速やかに書面で届け出る。 2. レポートの提出期限を厳守する。提出期限後の提出は減点します。 3. 私語や居眠り、学習のテーマ以外の作業、携帯電話の使用、その他授業の妨げとなる行為は、平常点より減点します。 		
13. オフィスアワー	初回の授業でお知らせします。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 障害概念と特性(1) 障害者の定義と特性	事前学習	教科書の準備とシラバスの確認を行う。 pp. 1～15 障害者の定義と特性」を熟読する。
		事後学習	「障害者の定義と特性」についてまとめる。
第2回	障害概念と特性(2) 国際生活機能分類 (ICF) と障害の社会モデル	事前学習	教科書 pp. 16～24 を熟読し、ICF と障害の社会モデルについて理解する。
		事後学習	「ICF と障害の社会モデル」についてまとめる。
第3回	障害者福祉の理念 障害観の変遷・障害者福祉の理念	事前学習	教科書 pp. 26～46 を熟読し、「障害観の変遷・障害者福祉の理念」について理解する。
		事後学習	「障害者福祉の理念」「障害観の変遷・障害者福祉の理念」についてまとめる。
第4回	障害者福祉の歴史 障害者権利条約批准までの変遷	事前学習	教科書 pp. 50～83 を熟読し、各法律について理解する。
		事後学習	「障害者福祉の歴史」についてまとめる。
第5回	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題 (1)障害者の生活実態	事前学習	教科書 pp. 86～93 を熟読し、「障害者の生活実態」について理解する。
		事後学習	「障害者の生活実態」についてまとめる。

第6回	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題 (2)障害者と家族、障害者を取り巻く社会環境と課題	事前学習	教科書 pp.94～107 を熟読し、「障害者と家族」「障害者を取り巻く社会環境と課題」について理解する。
		事後学習	障害者と家族「障害者を取り巻く社会環境と課題」についてまとめる。
第7回	障害者に対する法制度(1) 身体障害者福祉法・知的障害者福祉法・精神保健福祉法	事前学習	教科書 pp.110～132 を熟読し、「身体障害者福祉法・知的障害者福祉法・精神保健福祉法」について理解する。
		事後学習	「身体障害者福祉法・知的障害者福祉法・精神保健福祉法」についてまとめる。
第8回	障害者に対する法制度(2) 児童福祉法・発達障害者支援法	事前学習	教科書 pp.133～143 を熟読し、「児童福祉法・発達障害者支援法」について理解する。
		事後学習	地域生活支援事業、「児童福祉法・発達障害者支援法」についてまとめる。
第9回	障害者に対する法制度(3) 障害者総合支援法①	事前学習	教科書 pp.144～154 を熟読し、「障害者総合支援法」について理解する。
		事後学習	「障害者総合支援法」についてまとめる。
第10回	障害者に対する法制度(4) 障害者総合支援法②	事前学習	教科書 pp.144～154 を熟読し、「障害者総合支援法」について理解する。
		事後学習	「障害者総合支援法」についてまとめる。
第11回	障害者に対する法制度(5) 障害者虐待防止法・障害者差別解消法	事前学習	教科書 pp.155～164 を熟読し、「障害者虐待防止法・障害者差別解消法」について理解する。
		事後学習	「障害者虐待防止法・障害者差別解消法」についてまとめる。
第12回	障害者に対する法制度(6) バリアフリー法・障害者雇用促進法・障害者優先調達促進法	事前学習	教科書 pp.165～178 を熟読し、「バリアフリー法・障害者雇用促進法・障害者優先調達促進法」について理解する。
		事後学習	「バリアフリー法・障害者雇用促進法・障害者優先調達促進法」についてまとめる。
第13回	障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割 障害者家族等の支援における関係機関の役割・関連する専門職の役割	事前学習	教科書 pp.180～210 を熟読し、「障害者家族等の支援における関係機関の役割・関連する専門職の役割」について理解する。
		事後学習	障害者家族等の支援における関係機関の役割・関連する専門職の役割」についてまとめる。
第14回	障害者と家族等に対する支援の実際 障害領域におけるソーシャルワーカーの役割・障害者の家族等に対する支援の実際	事前学習	教科書 pp.211～243 を熟読し、「障害領域におけるソーシャルワーカーの役割・障害者の家族等に対する支援の実際」について理解する。
		事後学習	障害領域におけるソーシャルワーカーの役割・障害者の家族等に対する支援の実際」についてまとめる。
第15回	まとめ	事前学習	教科書の内容をまとめる。
		事後学習	これまでの学習内容をまとめる。
期末試験（試験に代わるレポートの場合有り）			